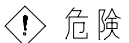
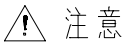



## 安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱い説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

この取扱い説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

 **危険** : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

 **注意** : 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

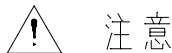
なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## 1. 使用上の注意



**危険**

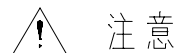
- 1) 端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。



**注意**

- 1) 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを「ON」にしてください。火災のおそれがあります。
- 2) 保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
- 3) 漏電警報が動作した時は、機器や電路の絶縁を確認してください。
- 4) 絶縁測定は、充電部と大地間の測定はできますが極間の測定はできませんので、負荷側の電線を外して測定してください。
- 5) ブレーカ表面のテストボタンによって漏電警報の動作確認が行えます。警報を解除する時は、リセットボタンを押してください。

## 2. 施工上の注意



**注意**

- 1) 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 2) 配線作業は、上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
- 3) このブレーカは漏電ブレーカではありません。漏電ブレーカの設置義務を配慮の上、ご使用してください。
- 4) 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。火災、動作しないおそれがあります。
- 5) ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水が遮断器内部に入らないように施工してください。動作しないおそれがあります。
- 6) 電線接続の際、端子ねじを確実に締め付けてください。火災の原因になります。  
標準締め付けトルク一覧表

ね じ 径	ソルダレス端子	M5	M6	M8	M8 (六角穴付)	M12
締め付けトルク N・m (kgf・cm)	1.5~2.5 (15~25)	2.5~3.5 (25~35)	4~5 (40~50)	5.5~7.5 (55~75)	8~13 (80~130)	40~50 (400~500)

- 7) モータブレーカ及びモータ保護兼用ブレーカをモータ回路に使用する場合は、モータの全負荷電流に適合したブレーカを選定してください。
- 8) 本体の定格にあった電源に接続してください。不動作及び故障の原因となります。
- 9) 電線は電源側・負荷側の指示通りに接続してください。

## 3. 動作

- 1) 過電流や短絡事故が発生した場合は、自動的にトリップし電路を遮断します。
- 2) トリップした場合の動作表示  
ハンドルが「OFF」の位置に止まるタイプと、「ON」と「OFF」の中間で止まるタイプがあります。中間で止まるタイプは、一度「OFF」側に戻してから再投入してください。
- 3) 漏電又は地絡事故が発生した場合は、内蔵リレーの接点が閉じ漏電が警報されると共に、漏電表示ランプが点灯します。しかしブレーカはトリップしません。

施工年月日

施工業者名

TEL.

**NITo 日東工業株式会社**

愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地

TEL. 長久手 (0561) 62-3111

<再生紙を使用しています>